

平成14年度第1回愛知県周産期医療協議会
議 事 要 録

日 時：平成14年6月7日（金） 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：浅井委員、安藤委員、五十里委員、石田（昭）委員、石田（時）委員、石塚委員、一木委員、岡田委員、
加納委員、小山委員（代理 伊藤）、鈴木 委員、戸辺委員、早川委員、二村委員、森川委員、山崎委員、

欠席者：梶浦委員、寺澤委員、奈倉委員、松澤委員、森田委員、

事務局：愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長（代理 母子保健係長）

名古屋第一赤十字病院第二産婦人科部長、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

欠 席：愛知県健康福祉部児童家庭課長、

司会者：名古屋第一赤十字病院第二産婦人科部長、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議 長：加納会長

1. 五十里技監あいさつ
2. 新任委員あいさつ（鈴木委員、二村委員、山崎委員、）
3. 新事務局あいさつ
4. 事務局報告

- * 「愛知県周産期医療対策事業実施要綱」及び「愛知県周産期医療協議会設置要綱」の一部変更について。
- * 平成14年3月1日からの保健婦助産婦看護婦法の改正に伴い、「助産婦、看護婦（士）、准看護婦（士）」を「助産師、看護師、准看護師」に改正しました。
- * 平成14年4月1日に愛知県の「審議会等の基本的取扱いに関する要綱」が制定されたのに伴い、「設置」を「開催」に改正しました。
- * いずれも6月1日から施行いたしました。

5. 会長・副会長選出

- * 会長 加納委員、副会長安藤委員に決定。
- * 加納会長あいさつ
- * 安藤副会長あいさつ

6. 議事

（1）平成14年度愛知県周産期医療情報システムについて

<ウイルス対策ソフトの導入について>

- * 昨年、Nimda に代表されるウイルスが社会問題になり、現在でも新しいウイルスが発生していますので、パソコンにウイルス対策ソフトを導入します。
- * 昨年のセキュリティ対策の時と同様に、CDと手順書を各施設に送付しますので、対応をよろしく願います。

<周産期医療施設からの「専門相談報告」、「その他周産期医療施設応需情報参照」の入力について>

- * 現在、専門相談報告のデータ集計入力は、周産期母子医療センターからしか入力できませんでしたが、周産期医療施設からの入力ができるようになります。
- * 「その他周産期医療施設応需情報」「専門相談報告」のデータを各施設で、インターネットを通じ入力可能にします。
- * 例えば、コロニー中央病院、あいち小児保健医療総合センター等からの入力も可能となります。
- * 大学病院は入力できないか。
- * 愛知県全体を網羅するには、大学病院も参加してほしい。
- * 現在は、コロニー中央病院が参加を希望しています。（コロニー中央病院の参加を承認）
- * 参加してもらうには、各施設で機器（パソコン・インターネット）の準備をしてもらう必要があります。

* 愛知県周産期医療協議会の予算での機器の提供、援助はできません。

<その他>

* システム開始から3年以上が経過して、パソコンのハードディスクに故障が発生していますので、必要なデータはバックアップをするようにしてください。

(2) 平成14年度愛知県周産期医療専門相談事業の事業計画について

- * 平成13年度は、総合・地域周産期母子医療センターにて持ち回りで実施しましたが、本年度も総合・地域周産期母子医療センターにて持ち回りで実施したいと考えております。
- * 各地域周産期母子医療センターで、開催日時、内容を検討し実施をお願いします。
- * 地域の開業医、助産師、保健師、その他の医療従事者を対象にした勉強会として開催してください。
- * 各施設は、開催内容、日程等決定しましたら、事務局までご連絡ください。
- * 終了後必ず事務局に開催報告をお願いします。
- * 1開催予算約15万円をお願いします。
- * 昨年は全ての開催案内が協議会委員にされませんでした。他の医療圏での専門相談でよいテーマがあれば参加したいので、開催案内を出してもらえないか。
- * 昨年は地域の医療圏での開催をお願いしましたので、愛知県下の全医療機関には開催案内を送付せず、開催医療圏の医療機関にのみ開催案内を送付しました。
- * 愛知県周産期医療協議会委員には、全ての専門相談の開催案内をお願いしたい。
- * 協議会委員の方には、全ての開催案内を送付します。

(3) 平成14年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

- * 案1「愛知県下のハイリスク新生児（NICU収容児）の退院後の地域での支援体制（保健師活動）の実態調査（継続）」。（あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久）
- * 案2（1）「愛知県下における脳性麻痺児の実態調査（継続）」、「脳性麻痺の成因としての周生期脳障害」、（2）「正常産児の低酸素性虚血性脳症の分析（2-1）周産期情報の解析（2-2）画像診断による解析」。（岡崎市民病院 早川文雄）
- * 案3「NICU入院児における母子相互作用に関する研究（長期母子分離と産後の抑うつが子供への愛着形成に与える影響について）」。（名古屋第一赤十字病院 鈴木千鶴子）
- * 以上3案の申し出がありました。その他に提案がありましたらお願いします。
- * 案3は、精神心理学を中心に調査・研究します。
- * 精神科の臨床心理士と協力して（1）マタニティブルーにあった母親と正常分娩の母親にアンケート調査と面接を行ない、母子分離体験についてお産直後と一カ月後に面接調査を行う。（2）母親がどのように子供を認識しているかを産前、産後の両方で面接をして、母子相互作用について調査・研究します。
- * 今年度は、まず名古屋第一赤十字病院のみの調査とし、今後愛知県下の施設に広げて行きたいと思っています。
- * 案2で、「低酸素性虚血性脳症」を「新生児脳症」に変更できないか。
- * このままの語句で調査・研究を行いたいと思います。
- * 今年度は提案のありました3テーマで、調査・研究事業を実施します。
- * 調査・研究経費は、案1 - 30万円、案2 - 40万円、案3 - 30万円の予算をお願いします。

(4) 平成14年度愛知県周産期医療研修事業の事業計画について

- * 研修会は、平成14年9月頃に、平成13年度調査・研究報告会として開催したいと考えています。
- * 名古屋での開催を予定しています。
- * 講演会は、平成14年11月頃名古屋での開催を予定しています。
- * 講演会、講師として、別紙事務局案（案1～案3）を考えました。
- * その他として何か良い案がありましたら提案をお願いします。
- * 講演会のテーマ、講師については、事務局に一任します。
- * 各講師に依頼し承諾を頂いたテーマで開催します。

(5) 平成13年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

<愛知県下のハイリスク新生児(NICU収容児)の退院後の地域での支援体制(保健師活動)の実態調査について>

- * 平成13年1月~平成13年12月までに退院し、平成13年12月~平成14年2月に外来受診した患者について調査しました。
- * ハイリスク児が、保健サービスを受けやすくなることを目的にしました。
- * (1)医療機関に対する診療情報の調査、(2)保健機関に対する調査、(3)ご家族へのアンケート調査、の三つの方法で調査しました。
- * 別紙調査結果を纏めました。(360名分の調査結果)
- * 愛知県下の全ての患者様の所に、保健師が行っていない結果が出ているが。
- * 全ての患者様の所に、保健師が行けるのが良いのではないか。
- * 必ずしも保健師が患者様の所に行くのが、よいとは言えないと思われる。
- * 地域での差はあるのか。
- * 特に地域での差はないように思われました。

(6) 報告事項

<愛知県 総合・地域周産期母子医療センターの現況について>

- * 別紙は、厚生労働省へ報告するために、各周産期母子医療センターの現況をまとめたものです。
- * PICUの搬送者数等の定義があいまいだったので、見直しをお願いする文書をFAXしますので、愛知県 児童家庭課へ報告してください。
- * PICU・NICUの法定病床がなくても、PICUは、母体搬送数を、NICUは新生児収容数を記入してください。

<平成13年度総合周産期母子医療センターの実績報告>

- * 別紙「名古屋第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター 平成13年度総括」を作成しましたので参照ください。

(7) その他

<名古屋第一赤十字病院、総合周産期母子医療センター病床数の変更について>

- * 現在、総合周産期母子医療センターのPICUは12床ありますが、将来的には、病床数を9床に変更したいと考えています。
- * 平成11年6月に、「周産期医療対策事業実施要綱」が一部改正され、PICUの病床数が9床以上から6床以上と減床されたこと、また、当院のPICUとNICUの病床数が同数の12床であることはPICUの病床利用の効率が悪いいため、PICUの病床数を9床に変更したいと考えています。

<名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センターについて>

- * 名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センターの入室基準はあるのですか。
- * 「母体・胎児集中治療室管理料」を算定するには、適用病名が決まっています。
- * 適用病名以外は、保険点数を算定できませんが、必要と認められる患者様は病名に関係なく、総合周産期母子医療センター(PICU)に収容しています。

<次回医療協議会開催について>

- * 平成14年度第2回周産期医療協議会を、平成14年11月22日(金)「名古屋第一赤十字病院 第六会議室」にて開催します。